

dorotayama news

どろたやま通信

【発行所】
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院
 岩手県一関市山目字泥田山下48
 Tel : 0191-25-2221
 Fax : 0191-25-2157
<http://www.hosp.go.jp/~iwate>
 発行責任者 櫻井 誠

あすなるフェス

今年は前年までの「あすなる祭り」から「あすなるフェス」へと行事名をリニューアルし、7月11日水曜日に開催しました。

今回は石巻市雄勝町唐桑の「祭りや」によるよさこい、一関市内の「一関レイモミフラサークル」によるフラダンス、ご家族・職員による盆踊りで盛り上げていただきました。よさこいの音楽が流れ出すと力強く息の合った踊りが始まり、患者さんやご家族の目はくぎ付けとなっていました。また、フラダンスは華やかで一体感のある踊りに加えて、サークルの先生がソロでキレイのある華麗な踊りのパフォーマンスを披露していただき、楽しい時間を過ごすことができました。さらに、ご家族・職員による盆踊りを見て、笑顔になっている患者さんも多くみられました。

3階の療育訓練室では、一関市内の障がい者支援施設等で構成された「ハートフルショップいちのせき」が開店しました。今年は6事業所にご協力いただき、麺類・パン・お菓子などの食品、コーヒー、手芸・工芸品、花苗・鉢花などが出品されました。どれを買おうかと一生懸命に商品を見て悩んだり、買い物袋で両手がふさがるほどたくさん購入されたりと多くの方々に買い物を楽しんでいただきました。毎年好評の「ハートフルショップいちのせき」ですが、市内の事業所の皆様のご協力なしには開店することはできず、大変感謝しております。また、来年もどうぞよろしくお願いいたします。

来年はどんなお祭りになるのでしょうかね。お楽しみに！！

児童指導員 野田 大倫



第1回東北HAL運用研修会に参加して

理学療法士 黒沢 健

7月28日に仙台市で開催された第1回東北HAL運用研修会に参加してきました。

東北でHALを使用している病院・施設のリハスタッフが35名程度参加し、5グループに分かれ、グループ内でディスカッションしながら研修しました。

ディスカッションの内容は、各病院・施設でのHAL



使用の様子、工夫しているところ、疑問点・悩みなどについてでした。そのため日々の臨床にすぐに活かすことが出来るような内容でした。今後、研修会で得た参加施設とのネットワークを活かし、積極的にHALに関する情報交換をしていきたいと考えています。

7月から当院にHAL外来を開設しました。HAL外来を開設したことにより、スムーズに患者さんがHALを使用できるようになったと考えています。今後もより多くの患者さんにHALを使用していただき、少しでも寄与できればと考えています。

平成30年度退院支援看護師養成研修に参加して

2 病棟 米倉 朝美

7 月 2 4 日から 2 7 日に開催された退院支援看護師養成研修に参加し、多職種がチームとなり患者さんやその家族へ支援を行っていくことの大切さを再認識できました。また、包括ケアシステム・退院支援プロセス・社会資源を学び、机上ですが退院支援の展開をすることができました。



看護師として「患者さんがどのように生活したいのか」に耳を傾げることの重要性や思いを把握し、ケアマネジャーと連携して社会資源を活用すること。そして、訪問看護師に看護を繋いで継続した看護を提供することが、患者さんが安心して在宅で生活することに繋がると学びました。

今後、訪問看護ステーション実習があります。退院後の患者さんへの関わりを知ることで病棟での退院に向けた支援に活かせるよう学んできたいと思います。

新IT基盤移行に向けた説明会」に参加して ～新HOSPnetへの移行準備～

業務班長 佐藤 友紀

5 月 2 8 日に新 I T 基盤移行に向けた説明会が機構本部で開催されました。日本年金機構の個人情報流出事案後、サイバーセキュリティ基本法が改正となりセキュリティの更なる強化が求められ、国立病院機構の HOSPnet が「新



情報系 (Web やメール)」と「新業務系 (各業務システム)」の 2 つに分離されます。新情報系は今年 1 2 月までに移行し、新業務系は平成 3 1 年 2 月下旬の切り替え予定となっています。このため、当院の院内 L A N (サイボウズ) は新業務系 HOSPnet に移行することとしています。

今後、円滑な移行が出来るよう院内プロジェクトチームを立ち上げ、準備を進めていきたいと思っています。

強度行動障害医療研修に参加して

あすなる 4 病棟 副看護師長 小岩 巧

7 月 1 2 日、1 3 日の二日間、国立病院機構本部で開催されたチーム医療研修「強度行動障害医療研修」に参加してきました。研修には医師、看護師をはじめ患者さんに関わる様々な職種の方が受講していました。研修では、講義やグループワークを通し行動障害について



の知識を高め、その要因分析や対策の立て方について学ぶことができました。

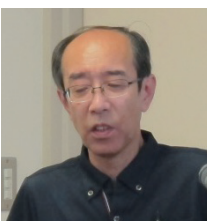
私たち看護師は、「患者さんの安全のために」と行動障害の抑制を行ってしまうことがあります。しかし、それらには必ず何らかの意味があり、その意味を考え、患者さんに関わることが重要だと改めて考えることができました。今回の学びを患者さんに関わる場で活かし、患者さんが安全・安楽に過ごせるような看護を提供していきたいと思っています。

院内カンファレンス

療育指導室長 安齋 康雄

7 月 1 2 日に「障害者虐待防止法と障害者差別解消法」というテーマでお話しさせていただきました。

障害者虐待防止法が施行されてもうすぐ 6 年になりますが、虐待に関する痛ましいニュースはいまだに後を絶ちません。不適切な対応が差別を生み、虐待へとすす



んでしまいます。障害者虐待防止法は、虐待を受けている人だけでなく、虐待をしてしまう人の両方を救うための法律です。虐待の芽を摘むためには障害のある方へ関わる者は当然、周囲の人も気を配り早期発見しすみやかに対応をする事が必要です。

患者さんも職員もともに安心した療養生活と支援を行えるように、みなさんと一緒に常に意識していきたいと思えます。

メッセージの伝え方

副看護部長 沖 律子

8 月 3 1 日と 9 月 1 日の 2 日間、北海道東北グループ主催の副看護部長研修を受講してきました。

研修の中で「経営管理」と「看護師のためのビジネススキル」について学びました。今まで意識や行動に影響を与えるのはプラスのメッセージと信じて、相手の良いところを見つけ出し、褒めることを少なからず実践してきました。関心を寄せて話を聞く・問いかけてちゃんと待



つ姿勢など、大切なことは何ら変わっていません。ただ相手と自分との「違い」を認識して向き合うことが重要で、相手の努力した過程をしっかりと捉えて肯定的なメッセージを伝えていくことが、自己効力感を支え、やる気につながっていくことを再認識しました。

時にはアドバイスしなくてはいけないという思いを一旦保留にして、気持ちや思いをしっかりと聴き出していくことも必要です。メッセージの意味は相手が決めることから、言葉と態度を選び、伝えたいことが正しく伝わるように更に意識して行動していこうと思いました。

岩手医科大学医学部第1学年「医療体験実習」について

臨床研究部長 豎山 真規

医療体験実習は入学間もない医学生が、医療の現場を体験し医師になるものとしての自覚を高め、医師の役割を理解するために行われる実習です。7月23日、24日の2日間、4人の女子学生さんが当院で実習を行いました。

1日目は重度心身障害者医療、神経難病医療をテーマに病棟で実習を行いました。2日目は、多職種連携・チーム医療について理解を深めるために、リハビリテーションについて病棟および機能訓練棟での実習をおこない、臨床工学士、医療相談員の仕事についても学んでもらいました。訪問診療にも同行しました。職員の皆様の協力

のもと、充実した2日間にする事ができました。

岩手医科大学の1年生は矢巾キャンパスで全員が寮生活をしているとのことで、4人の学生さんは仲がよく、明るく礼儀正しい皆さんでした。それぞれの進路についても具体的に考えておられ、将来の活躍がとても楽しみです。



一関夏祭りに参加して

事務局

今年も、一関夏祭りの第46回くるくる踊り大パレードに参加して来ました。

当日は朝から激しい暑さでしたが、市内事業所等から25団体・約千5百人が参加し、色とりどりの浴衣に身をつつんで優雅に舞いました。当院からは院長先生をはじめ、これまでで最大の55名もの職員が参加しました。

今年は数年振りに当院のプラカードをリニューアルし、2週間前から踊りの練習を行うなど準備万端で臨んだところ、翌日の岩手日々新聞に大々的に掲載された写真は、なんと！当院の踊り子たち（職員）でした。

パレード終了後の打ち上げは、いつもの「中村家」。冷たいビールは格別の味だったことはありますが、仕事から離れたところで岩手病院職員の一体感を感じられたことが最高！でした。このためか、1次会では物足りず、2次会へ突入した強者もいたとか？

来年も、また、参加するぞ！ ウォ～！



↑新聞に掲載された写真



職員紹介 ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

平成30年7月9日付採用



あべ かずこ
阿部 和子 看護師

- ①一関市巖美町
- ②おいしいものを食べること
- ③出来るだけ早く、職場の環境と仕事に慣れて、皆様のお役に立てるように頑張ります。

平成30年8月6日付採用



あべ たえ
阿部 多英 看護師

- ①一関市滝沢
- ②ショッピング、音楽鑑賞、家族でおでかけ
- ③早く仕事に慣れるように頑張ります。

診療体制 (平成30年9月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
神経内科	午前 (再来)	豎山	工藤 ※物忘れ、 頭痛など	千田(圭)	千田(光)	今野
	午前 (新患)	千田(光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿部	豎山	小野	千田(圭) ほか
	午後	※HAL外来 今野 (第1、3、5週)				※リウマチ外来 千葉(実) (最終金曜)
呼吸器科		芦野	櫻井	芦野 (禁煙外来)	櫻井	芦野
内科		櫻井 予約者のみ		櫻井 予約者のみ	阿部	佐藤(良)
外科		平野 予約者のみ	平野		平野	
小児科			田澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	※重症心身障害 大沼
リハビリテーション科		佐藤(智) ※ボトックス外来、 AGA外来など			宮	
歯科		佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	佐藤(敦)	
その他	専門外来 (赤字で表記) は、すべて予約制です。 予防接種は、火・木 9:00 ~ 11:00 の完全予約制です。			※心療内科外来(午後) 伊藤 ※消化器科外来 仙台医療センターから ※アレルギー(第2週) 千葉(友)	※皮膚科外来 東北大学から	※循環器科外来 羽根田 (第1、3週)

職場紹介 — 1 病棟 —

私たちは、当院が担っている政策医療の一環として主に神経・筋疾患の病気を患った方々を看護しています。自分で食べたり歩いたりする力を失い、人工呼吸器を装着し、コミュニケーションツールを使用して会話をするなど、長期療養の方々が入院しています。限ら



れた生活空間の中で少しでもその人らしく療養できるよう、個別性を重視した看護に力を入れています。35名の看護師と3名の業務技術員が、入院患者さんとご家族に少しでも快適な療養環境を提供するべく、ひまわりのように明るく元気に頑張っています。
看護師長 石川 君江

人事異動

- 【平成 30 年 7 月 9 日付】採用
阿部 和子 看護師
- 【平成 30 年 7 月 31 日付】辞職
鎌田栄美子 看護師
- 【平成 30 年 8 月 6 日付】採用
阿部 多英 看護師
- 【平成 30 年 8 月 31 日付】辞職
千葉 勝子 看護師



【編集後記】

北海道から一関に来て3回目の夏です。まだまだ夏なのに、なぜか朝は寒くて布団から出られない日が増えてきています。暑さには慣れてきましたが、寒さには弱くなったみたいです。お盆が過ぎ、ちらほらとトンボが飛びまわる姿が見えます。秋が近くまで来ているようですね。季節の変わり目になりますので、皆さん体調管理をしっかりと気をつけていきましょう。
 (リハビリ科N)